

## 実践報告

## 札幌市立月寒小学校

### (1) 研究内容

研究課題：「札幌市アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン）」において4年生の社会科の学習と関連させて、施設見学と同施設の体験プログラムを活用し、アイヌ民族の文化や歴史などについて、「アイヌ民族の方から直接学ぶ体験学習」

#### 研究課題を通して育てたい力

◎札幌市教育課程編成の手引に沿って、社会科及び総合的な学習の時間を通し、基本的な人権の尊重に立った教育の推進を図る。

- 具体的には、北海道の先住民族のアイヌの方々が築いてきた歴史や文化を学び、正しい知識を得て、理解を深める。また、衣食住や遊びから、自然を生かした知恵について考えることができるようにする。さらに、アイヌの方々の社会や文化を尊重する態度を養う。
- 文化の多様性を理解し、互いの文化を尊重できる力を育てる。かけがえのない人間としての尊厳を認め合い、一人一人が自他の生命を尊びあらゆる偏見や差別を無くし、心豊かにたくましく生きる力を育てる。

### (2) 実践の内容

【実践①】「札幌市アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン）の施設見学と体験プログラムの利用」について

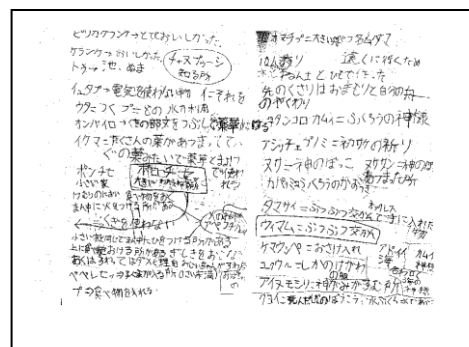
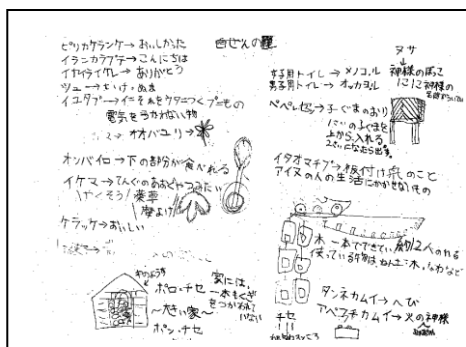
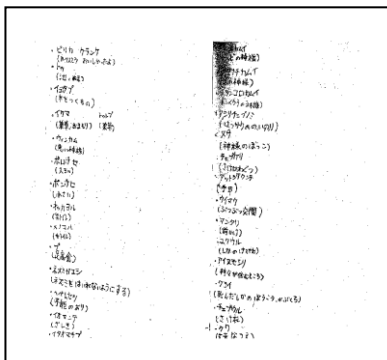
#### ○ ねらい

ピリカコタンの展示物や施設を見学し、アイヌ文化や歴史についての理解を図る。

- ・ 文化財等の実物に触れたり、歌や踊りを体験したりするなどしてアイヌ民族の文化、歴史などに親しむ。
- ・ アイヌの方々から直接学ぶ体験的な学習(交流)を通して、関心を高め、アイヌ民族の文化や歴史を理解し、尊重する態度を育てる。

#### ○ 学習内容

- ・ 北海道の先住民族のアイヌの方々が築いてきた文化や歴史を学ぶ。  
(屋内展示室・屋外施設見学・質疑応答等)
- ・ アイヌの方々の衣食住や遊びについて調べたことから、自然を生かす知恵について考えていく。(チセ見学・カリプ体験・縄跳び等)
- ・ アイヌの方々が語り伝えてきた話やお祭りを学ぶ中で、自然と共に生活しているアイヌの方々の思いや願いを学ぶ。(歌舞・演奏鑑賞・舞踊体験)
- ・ 「夷酋列像」展の開催における NHK の取組とタイアップして人権教育の一環としての出前授業の開催。



### (3) 研究のまとめ

#### ① 成果

展示室の見学では、様々な民具等の実物に触れることができ、興味・関心を高めることができた。また、歌や楽器の演奏、踊りの実体験は、教室での学習では得られないもので、印象深いものとなった。これらの体験活動を通じ、アイヌ民族の自然観についての理解が進んだ。

遊びの体験を通して、自分たちの遊びとの共通点を見だし、親しみを感じることができた。屋外ではチセや丸木舟等を見学することができ、その大きさや用途を実感することができた。アイヌ文化の奥深さと自然と共に生きる姿に触れ、敬意をもつことができた。

#### ② 課題

アイヌ民族の歴史や文化・生活等の理解を深め、尊重する態度の育成を継続的に行っていく必要がある。アイヌの方々との直接の触れ合いを通じて、差別のない人間関係を育てていこうとする人権への理解につながる学習展開の工夫をしていきたい。



#### ③ 提言「人権教育のすすめ」

NHK による映像で学ぶ出前授業を、保護者にも参観してもらおう公開授業として実施できたことは、人権尊重について、子どもたちだけでなく、保護者にも広く考える場を提供できた。

この学習を出発点として「アイヌの人たちの人権が守られる社会は、自分たちも含めみんなが尊重される社会となる」ことを他の教科・領域でも取り組み、人権への理解がさらに深まっていく教育課程の編成を心がけていきたい。